



ご協力をありがとうございました ～能登半島地震被災地へ義援金～

1月1日、お正月の一家団らんの午後4時10分に能登半島で最大震度「7」の地震が発生し、能登半島全域で多くの方が犠牲となり、また、家屋の倒壊、道路の崩壊など大きな被害が生じました。



この災害に対して、古牧地区住民自治協議会では被災された地域の復興と被災者の生活支援の一助となるようにと古牧

地区の皆さんから義援金を募りました。その結果、大勢の皆さんから善意をいただきまして総額で1,412,873円の義援金が集まりました。

この義援金を6月19日（水）に日本赤十字社長野県支部に出向き、西澤征防会長から伊藤一紀事務局長に被災地へ届けていただくよう贈呈しました。

6ヶ月経った今も能登地域の皆さんは避難所生活を余儀なくされています。被災地の皆さんが一日も早い普段通りの生活を取り戻すことができると願うばかりです。

古牧地区の皆さん方のご協力に感謝を申し上げます。
(事務局)

晴天の下 1打・1打に集中して

～世代交流グラウンド・ゴルフ大会～

6月8日（土）第10回古牧地区世代交流グラウンド・ゴルフ大会が古牧小学校の校庭で開催されました。

当日は、好天に恵まれ真夏のような暑さの中で競技が行われました。

大会の参加者は、役員を含め107名で、87名の方がゲームに参加しました。

ゲームは、1ラウンド8ホールを2ラウンド行い合計得点で順位が決まります。あるチームでは小学生に大人の方が熱心に打ち方を教えている姿も見受けられました。2ラウンド終了後、ホールインワンゲームが行われ20本のホールインワンが出て達成者は賞を頂き喜んでいました。

炎天下の中の大会でしたが、誰一人体調を崩す参加者もなかったことは幸いでした。

(福祉健康部)



大会の入賞者

	小学生の部 (25名参加)	保護者の部 (20名参加)	一般男子の部 (27名参加)	一般女子の部 (15名参加)
1位	金井 希実	吉見さやか	高池 和三	相澤由美子
2位	中澤胡々菜	小泉 一真	横田 博男	中村 納子
3位	池田 来楽	戎井 愛	深澤 健一	小淵 春子

～小雨の中 真剣にプレー～ 親睦ゴルフ大会を開催

6月28日（金）第20回古牧地区親睦ゴルフ大会が長野国際カントリークラブを会場に開催されました。

当日は早朝よりあいにくの雨降りでしたが126名が参加しました。

参加者は、小雨の中、少しでも良い成績で上がろうと真剣に、また、各組のプレーヤー同士楽しく歓談をしながらコースを回っておりました。

今回は個人戦（新ペリア※1）に加え各区上位4名による団体戦（グロス※2及び新ペ



リア）のハーフ（9ホール）の集計で競技が行われました。参加者の皆様、大変お疲れさまでした。（福祉健康部）

※1 新ペリア＝ゴルフコンペなどで採用されるハンディキャップを加味した打数の総計のこと。

※2 グロス＝全ホールの打数の総計のこと。

大会の結果	個人戦（新ペリア）				団体戦		
	優勝	長谷川裕之	女子優勝	新井ひろ子		グロス	新ペリア
	準優勝	中澤 和彦			優勝	平林区	東和田区
	3位	田子 将一			準優勝	上高田区	川端区

地域で活動する団体を応援 ～支所発地域力向上支援金～

7月4日（木）に古牧公民館において「支所発地域力向上支援金事業」の交付対象団体の選考会が行われました。

この事業は、古牧支所が古牧地区の地区活性化及び課題解決などに取り組む各種団体の活動を通じて地域の皆さんの活動が活発になり、新たなコミュニティーや仲間づくりが進み、地域がもっと元気になるようにとの主旨で地域力の向上を目的に団体の活動に対して支援金を交付するものです。

選考会では、交付を希望する団体からそれぞれ事業内容の説明を受けて、8名の選考委員により事業の必要性、適正性、効果、将来性などの視点から審査

が行われ、審査の結果「防災用具の整備」、「伝統芸能の継承」、「健康と福祉の充実」などを行う6団体に対して支援金を交付することになりました。

なお、交付対象団体及び事業名は下表のとおりです。（古牧支所）

（表） 交付対象団体・事業

申請団体	事業名
南長池区DVDけんこう運動	DVD映像機器の整備
川端区自主防災会	災害時の電源確保事業
西尾張部区	防災用具・用品の整備
中村区	防災用具・用品の整備
五分一区	自主防災会備品整備事業
上高田太々神楽保存会	上高田太々神楽後継者育成事業

歴史にいだかれた上高田南向塚公園が完成

令和2年11月から約3年7か月掛けて工事が行われていました「上高田南向塚公園」が令和6年6月に完成しました。

公園の建設にあたり、上高田区では公園建設委員会を設置し事業者である長野市と計画内容について、検討、協議を進めてきました。

公園の概要は、面積2.1haで「多目的広場」「あそびの広場」「イベント広場」「憩

いの広場」「歴史の広場」の5つのゾーンに分かれています。公園一帯には「南向塚古墳」「芋井神社」「旧裾花川河川跡（段差）」などの歴史的な財産もあり、公園のイメージは「歴史にいだかれた三世代交流の場」として開設されました。

6月8日には地元の上高田区の皆さんが公園完成の記念の催しを開きスタンプラリーや音楽演奏、グラウンドゴルフなどが行われ、地域子ども達をはじめ多くの皆さんでにぎわいました。

「あそびの広場」には遊具も設置され子どもを遊ばせたり、また、園路もあり散歩もできる公園です。皆さん機会がありましたら一度訪ねてみてはどうでしょうか。（事務局）



歴史探索

ぐるりおがまち

北条

地蔵庵の六地蔵

古牧郷土史研究会 傳田 隆治

北条にある地蔵庵は平林街道の一つ南の通りの松林川沿いにある。「古牧誌」によれば、江戸時代初期に北条の湯田家のご先祖によって結ばれたのがその始まりという。しばらく前までは庵主さまがおられたが今はおられない曹洞宗の庵である。地蔵庵の門に入ってすぐ左手に六地蔵がある。その台座の石組みに



次頁へつづく

は碑文が刻まれていて、風雪のためか消えかかっており一部読み取れない部分はあるが、「慶応2年（1866）丙寅孟春造之、鋪地寄進傳田喜兵衛、諸事寄進惣組中阿羅屋組中、發願主湯田文七」の文字が読み取れる。

阿羅屋は隣村の荒屋であろう。この六地藏は明治元年の2年前に地元の寄進等で造られたことがわかる。「地藏庵」はずっと後に「北条公民館」ができるまで、村の寄り合いの場だったと古老の話に聞く。庵の隣には「社倉」がある。この場所が長い間、村の活動の場の中心になっていた。なお「地藏庵」の名前になったのは、明治22年（1889）に地藏庵の建物が建て替えられた時からだという。「地



地藏庵、左手が六地藏

蔵庵」の名前はこの六地藏が由来とされているが確証はない。なお、この時期に北条では五反幟も造られていた。あまり豊かでなかったと思われる当時のこの村でこの時期に、六地藏と五反幟を造る経済的余裕がどこからきたのでしょうか、知りたいものです。

しゃばえんびつ



川端の神楽保存会

川端の神楽は昭和37年ごろまでは青年部が有り、盛んに練習をして秋祭りには奉納舞をしていました。しかし、後継者不足により絶えてしまいました。

平成8年ごろから公民館役員やOBの方々から社蔵の片隅に虫に喰われていた獅子頭を復活しようとの声上がり、平成10年に初代会長の故倉石博行さんを中心に北堀の神楽保存会にお願いをして「川端神楽保存会」を立ち上げることになりました。

北堀の神楽は善光寺舞の立舞に対して低い姿勢で舞うのが特徴で、楽ではない姿勢での獅子舞です。

練習は1年を通して毎月第2、第4日曜日の18時30分から公民館で行っています。

春祭りから始まり秋祭り、元旦祭での奉納舞を行っています。25年間続いていますが、近年、後継者不足が深刻な問題になっていました。しかし、お母さん2人、小学生2人が入会して、ただ今、デビューに向けて頑張っています。また、他の会員もご苦労呼びの際にお酒に飲まれないよう頑張っています。

お祭りには獅子に candemo もらうと神（囃み）がつくと言われております。獅子舞から元気をもらいましょう。

（杉浦 俊資）



8月から9月までの主な行事実施日のお知らせは回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和6年7月1日現在

11,859 世帯

26,061 人

（男 12,911人 女 13,150人）

■発行所 古牧地区住民自治協議会
（電話259-8359・FAX219-1057）
（E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp）

■発行者 西澤 征防

■編集 ぷらネットこまき編集委員会

■印刷 有)小池印刷



HP
ご覧ください